

にかほ

福祉だより

第9号

平成19年8月15日

編集発行

社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会

秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1

TEL 0184-32-3020 FAX 0184-37-2852



一日限定、保育士です。どうぞ、よろしく!!

サマーボランティアスクール

7月23日(月)から、仁賀保地域で小中学生対象のサマーボランティアスクールが始まりました。にかほ保育園や小出保育園、そしてつぼみ保育園では、連日にわたり子どもたちの活躍が光りました。

(関連記事 P.4)





別離傷心

にかほ市社会福祉協議会

会長 細矢 鐵雄

玄関に城構えたりつばくらめ てつを

家族同様の付き合いをしていた燕が今年も姿を見せない。今年も言うことは昨年も来なかったからである。隣家に来た燕は一番子が巣立ち一人前になっていたので余計、面白くない。古巣を眺めては、妻と話合い淋しい思いをして暮らして来た。一昨年、南に帰る時、何回も何回も飛び立つ練習をしていた子燕たちは遂に五羽共、電線に止まることができ、妻と喜んだのも束の間、八月の末にはいつの間にか親子共々、南の方に飛んで行き、昨年は首を長くして待っていたのに来なかった。今年も、来るだろうと思っていたのに・・・。南に帰る途中、嵐に遭ったか、事故に遭ったかと心配していたのである。

動物や小鳥たちに対する情や草花に対する愛しさは、人間誰でも持っている性であるはずなのに、何故、人類同士戦や殺し合いをしているのか不思議でならないと思う。人間や物、そして事象との一期一会をつくづくと思ひ、佛教の教えの中にある四苦八苦のひとつ「愛別離苦」（愛するものと必ず離れなければならない）という試練を誰しもくぐらねばならない宿命を思うこのごろである。

平成十九年八月



住みよいまちづくりを目指して 「地域福祉活動計画」を作成します

にかほ市社協では、今年度「地域福祉活動計画」を作成します。平成20年から24年まで、にかほ市社協で実施する福祉事業を計画するものです。市民の皆様の声や要望を取り入れ、14人の策定委員と6人の参加者が計画の作成にあたります。



▲7月31日(火)、第1回目の地域福祉活動計画策定委員会が開催されました

「社協会費」及び「日赤社費」 ご協力に感謝します

毎年、市民の皆様をお願いしております「社協会費」と「日赤社費」ですが、今年も皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

「社協会費」は、子どもからお年寄りまで元気で明るく暮らせるように、様々な地域福祉活動に役立てられます。

「日赤社費」は、日本赤十字社秋田県支部に送金され、各地で行われている赤十字活動に役立てられます。にかほ市社協にも一部還元され、地域のために活用されます。



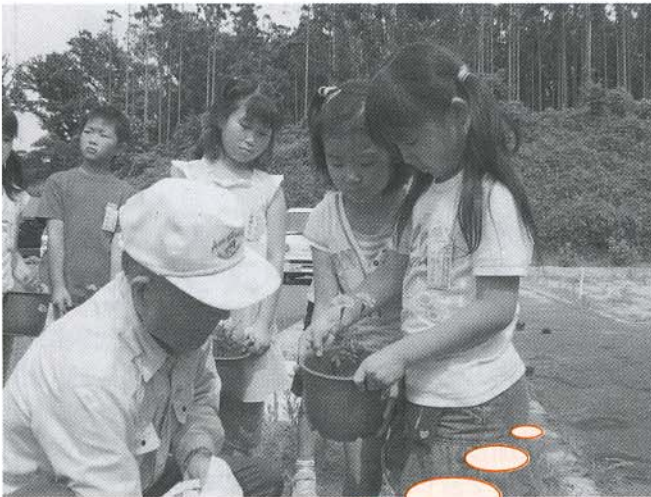
笑顔も満開

花のメッセージ事業

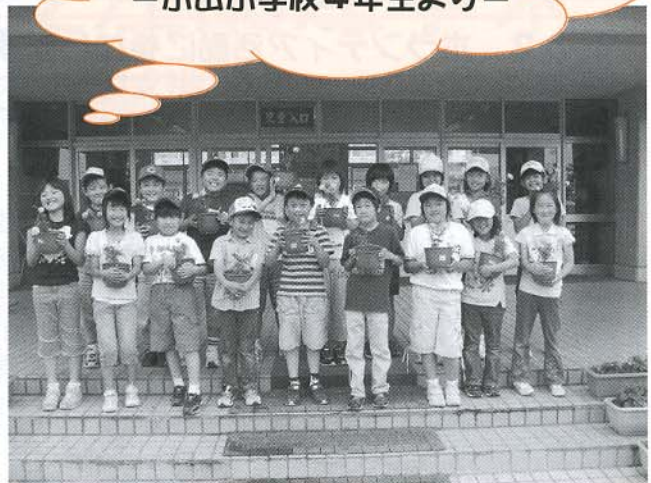
地域福祉トータルケア事業

地域福祉トータルケア事業の一環として、「花のメッセージ事業」が各支所で行われました。市内の小学校3校（象潟小学校・金浦小学校・小出小学校）の協力を得て、一人暮らし高齢者の方々（90軒）にきれいなマリゴールドの鉢植えが届けられました。小学生が書いた心のこもった絵手紙が添えられた鉢植えを見て、おじいちゃん、おばあちゃんは満面の笑みを浮かべ、とても喜んでいました。

「花のメッセージ事業」とは、世代間のふれあいをテーマに、一人暮らし高齢者の方々へ、花に絵手紙を添えて小学生がお世話した鉢植えを配布する事業です。



一生懸命お世話しました
=小出小学校4年生より=



早くきれいなお花が
たくさん咲くといいな
=金浦小学校2年生より=

いつまでも元気でいて下さい
=象潟小学校6年生より=



いろいろあります!!

子どもたちが体験している



その1 手話を学習します

～お互いの"心"を伝え合おう～

手話体験教室

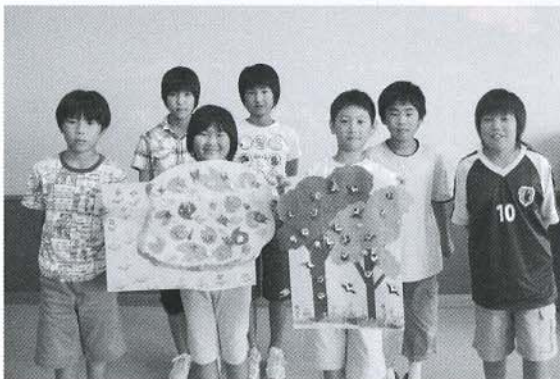
7月11日(水)、上浜小学校の6年生の皆さんが「手話」について学習しました。手話通訳士の平川さんと実際に耳が不自由な伊藤さんを講師にお招きして、言葉を発しないでお互いの心を通じ合わせることの難しさや大切さを実感し、あいさつなどの簡単な「手話」について学び合いました。

また、平川さんと伊藤さんに、子どもたちから、感想が寄せられた色紙がプレゼントされ、心が通い合った瞬間を感じました。



- ▲「通じる事って嬉しいな。手話で伝えられるってすごい!!」
- ◀ 喜びいっぱいの平川さん(左)と伊藤さん(右)「どうもありがとう!!」

その2 ボランティア活動に参加します



- ▲「小さな折り紙でこんなに大きな作品ができるなんて、感動!!『楽しいわが家』のおじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれて嬉しかったです」

～夏休みを利用して～

サマーボランティアスクール

夏休みを利用して、仁賀保地域の小中学生を対象にサマーボランティアスクールが今年も開催されました。7月23日(月)から始まった教室には、延べ166人の小中学生が参加しました。折り紙教室や手づくり小物教室のような体験学習や、朗読や点字、手話といった学習教室、またおもちゃライブラリーや保育園、老人ホームへの訪問を通して人との交流を図るもの等、内容は10種類にわたりました。参加した子どもたちは、普段学校では体験することができない活動に一生懸命に取り組み、充実した時間を過ごしていました。

その3 介護について知識を深めます

～介助にチャレンジ!!～

車いす介助・高齢者疑似体験学習

去る6月13日(水)、福祉教育の一環として象潟小学校6年生の皆さんが車いすの介助体験や高齢者の疑似体験学習を行いました。今回の体験学習を通じて、車いすを利用されている方や障害のある方、高齢者の方々への理解を深め、基本的な介助の方法や接し方などについて学習しました。



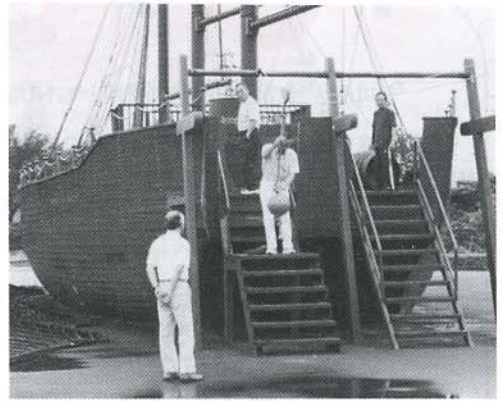
- ▲「お年寄りの気持ちが分かったよ。階段は大変なんだなあ」
- ◀「車いす介助って、結構難しいんだなあ」

地域の安全を願って・・・

金浦地域 公園遊具等を見回り

金浦支所では、7月21日（土）、金浦地区民生児童委員協議会の皆さんが行った、金浦地域の公園にある遊具や災害時の避難場所、赤石海水浴場、金浦小学校プールの視察に同行し、地域の見回りをしました。

夏休みを迎え、子どもたちが公園や海水浴場、プールを利用する機会が増えることが予想されるため、今回の視察となりました。実際に遊具を使ってみたりしましたが、特に気になる様な所は見受けられませんでした。ただし、あくまでも素人目での点検なので、実際に遊具を利用する子どもさんには、くれぐれも気を付けるようご家庭でご指導ください。



▲「南極公園（くじら公園）」を中心に見回りました

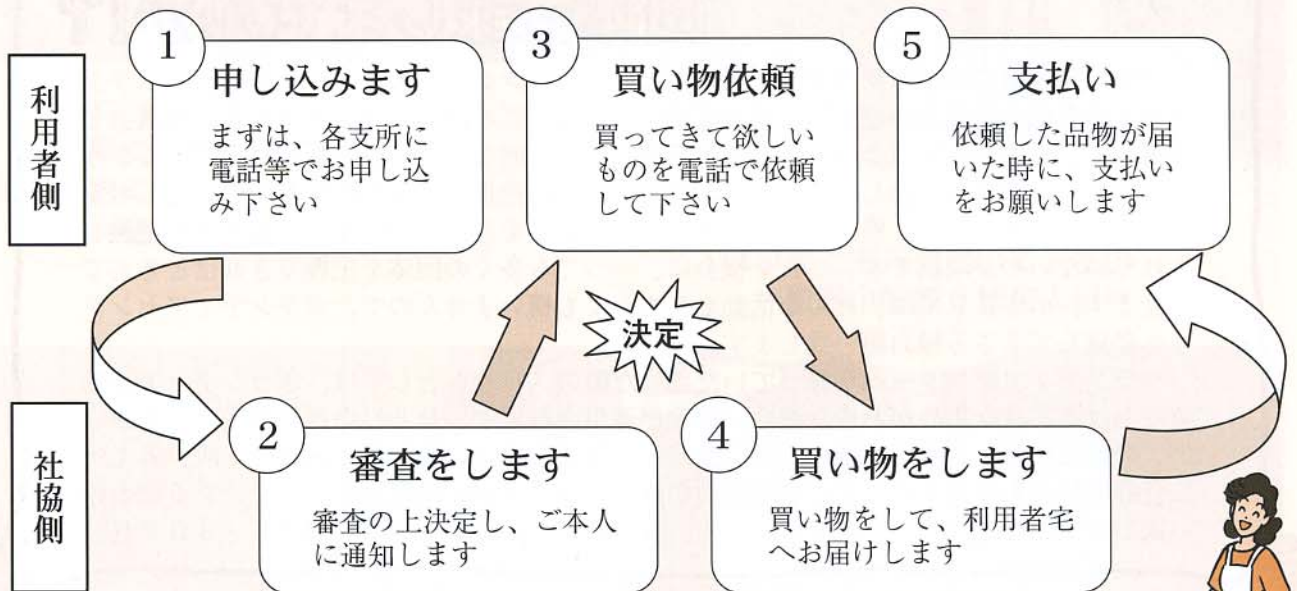
始まります！！ 日常生活用品受注配達事業

にかほ市社協では、見守り活動も兼ねて、日常生活用品受注配達事業を立ち上げます。この事業は、利用者の希望する商品を利用者に代わって購入（第2・4木曜日）し、お宅にお届けします。この事業の利用を希望し、右記に該当する方やそのご親戚の方は、是非ご検討の上、お申し込み下さい。この事業の申し込みは9月からお受けいたします。

地域福祉トータルケア事業

対象となる方（全てに該当する方）

- ・「一人暮らし」または「高齢者世帯の方」
- ・足腰が弱い方
- ・一人で買い物に行く事が困難な方



- | | |
|-------------|----------|
| (例) ★ 買える商品 | ★ 買えない商品 |
| トイレットペーパー | 肉 |
| 洗濯洗剤 | 魚 |
| 台所用品 | 野菜 |

* 基本的に生鮮食品の買い物はお引き受けできません

- * 買い物を引き受けられる商品と引き受けられない商品がありますので、ご了承下さい（左囲み参照）。
- * 利用料は無料です。買い物にかかる実費のみの負担となります。

この事業は、にかほ市商工会の協力を得て実施する予定です



インタビュー

今回は、金浦支所勤務の佐々木ケイ子さんと、象潟支所勤務の須藤輝美さんにお話を伺いました

★ 社協では、どんな仕事をしていますか？

(ケ) ホームヘルパーとして、利用者の各家庭を訪問し、身体介護や生活援助等、出来るところは利用者本人にやっていただき、出来ないところへの援助をさせていただいております。

(輝) 介護保険サービスに関する相談や介護計画等の作成をするケアマネージャーをしています。

★ 仕事を通して印象に残っていることは何ですか？

(ケ) 訪問が終わり帰る時に、「ありがとう、気をつけて行けよ」というあたたかい言葉をもらった事です。毎日の事ですが、その瞬間嬉しくて、疲れがスーと抜けるのを感じます。そして、利用者の笑顔、会話などを通じ、自分の事を受け入れられていると感じる時が、ヘルパーをやらせていただいて良かったと思っています。

(輝) 一人暮らしで寝たきり(要介護5)の方を、「住み慣れた自宅で生活したい」という要望から、周囲の協力をはじめ、遠く離れた家族、医療・介護スタッフと連携し、在宅で支える事ができた事です。そして、訪問した時の利用者の皆さんとの会話と笑顔です。

★ 最後に市民の皆様へメッセージをお願いします

(ケ) 多くの利用者の皆様と接していますが、一人ひとりの個性があり、また長年生活してきた歴史があり、学ぶ事がたくさんあります。在宅介護で大切な事は、介護する家族が心身共に健康であることだと思いますので必要な時はヘルパーを利用して下さい。

(輝) 困りごとを軽減しながら、安心して在宅生活を続けることができるよう、支援していきたいと思っています。



▲須藤輝美さん(左)、佐々木ケイ子さん(右)

ボランティア活動を頑張っている団体の皆さんへ 団体登録しませんか!?

にかほ市社協では、ボランティアの拠点としてボランティアセンターを設置し、ボランティアの登録や斡旋を呼びかけております。この度、にかほ市ボランティア連絡協議会と連携して、災害発生時やボランティアが必要になった時など、スムーズに対応できるように、主にかほ市で活動しているボランティア団体を把握することにいたしました。ボランティアセンターでは、残念ながら、とてもよい活動をしていてもすべての団体を把握できていないのが現状です。これを機会に、一つでも多くの団体を把握できればと考えております。つきましては、どんな活動をしていても構いませんので、ボランティアセンターへ登録して下さいませお願い致します。

ボランティアセンターへ登録していただいた際のメリットとしては、ボランティア活動時における不意な事故がおきた場合、保険が適用されます。是非、会員の皆様とご相談の上、登録を検討してみてください。尚、登録につきましては、社会福祉協議会本所、各支所に登録用紙がありますので、ご足労をおかけいたしますが、一度足を運んで下さるようお願い致します。

[お問い合わせ先 本所 ☎32-3020]

介護のことについては、下記までお気軽にご相談下さい。

介護事業所

- ・象潟居宅介護支援事業所 にかほ市象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
- ・金浦居宅介護支援事業所 " 金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
- ・にかほ居宅介護支援事業所 " 平沢字八森31番地の1 ☎32-3011

*相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

お知らせ

平成19年新潟県中越沖地震 義援金の受付について

「日本赤十字社」では、7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」で被災した方々への義援金を下記により受付しております。

1. 名称 「平成19年新潟県中越沖地震義援金」
2. 受付期間 平成19年7月17日(火)～平成20年1月16日(水)
3. 受付口座
 - (1) 銀行振込
 - ①秋田銀行本店 普通預金「516304」 名義「日本赤十字社秋田県支部長」
 - ②北都銀行本店 普通預金「888228」 名義「日本赤十字社秋田県支部長」
 - (2) 郵便振替
「00510-5-26」 名義「日本赤十字社新潟県支部」
4. その他
 - (1) 上記(1)(2)とも窓口での取り扱い手数料は無料です。
 - (2) 秋田銀行並びに北都銀行各店には、義援金専用の振込用紙が備えられています。
 - (3) 通信欄に「新潟中越沖地震」と明記してください。
 - (4) 郵便振替口座をご利用で受領書を希望される方は、併せて「受領書希望」と明記してください。

ふれあい相談日

○ 無料法律相談 (弁護士対応)

日時 9月10日(月) 午後1時～4時
場所 象潟支所 (老人福祉センター)
担当 平野一史 弁護士
申込先 象潟支所 (☎43-2543)
期限 9月3日(月)

日時 10月5日(金) 午前10時～12時
場所 仁賀保支所 (スマイル)
担当 津谷裕貴 弁護士
申込先 仁賀保支所 (☎32-3010)
期限 9月28日(金)

○ こころの相談 (臨床心理士対応)

日時 8月25日(土) 午後2時～5時
場所 象潟支所 (老人福祉センター)
担当 安藤隆彦 先生 (臨床心理士)
申込先 象潟支所 (☎43-2543)
期限 8月20日(月)
定員 2名 (先着順)

○ 司法書士による相談 (司法書士対応)

日時 9月13日(木) 午後2時～4時
場所 金浦支所 (元気百歳館)
担当 渡辺嘉宏 司法書士
申込先 金浦支所 (☎38-2375)
期限 9月6日(木)

○ 一般相談 (相談員又は職員対応) 随時各支所にて対応します

参加者募集

第8回ふれあいグラウンドゴルフ大会

象潟支所では、高齢者の健康増進と仲間づくりを目的に下記により「第8回 ふれあいグラウンド・ゴルフ大会」を開催致します。

1. 日時 9月1日(土) 小雨決行
受付 午後12時～12時30分
2. 場所 奈曾川河川敷公園 (本郷)
3. 参加対象 象潟地域在住の満60歳以上の方
4. 参加費 1,000円 (申込の際に納入して下さい)
*キャンセルの場合、お金の返金は出来ませんので、ご了承下さい
5. 申込み先 各単位老人クラブ
*老人クラブのない町内の方は、直接社協象潟支所までお申し込み下さい
6. 定員 160名
7. 申込期限 8月17日(金)
*定員になり次第、締め切らせていただきます
8. その他 道具(クラブ)のない方は、お申込の際にお知らせ下さい
9. 問合せ先 象潟支所 (☎43-2543)





ありがとう



(8月1日現在)

◎香典返しとして金一封をご寄付されました

- ・ 齊藤正歳様 (湯見町2区)
- ・ 石橋明様 (大谷地)
- ・ 竹内耕次様 (はまなす)
- ・ 菅原正泰様 (荒古屋)
- ・ 齋藤欣一様 (鳥の海1区)
- ・ 村上藤一様 (横岡)
- ・ 今野隆様 (湯見町1区)
- ・ 里内隆吉様 (武道島2区)
- ・ 池田裕子様 (下荒屋)
- ・ 佐々木進様 (大町)
- ・ 福川清兼様 (小滝)
- ・ 伊東清謙悟様 (小砂川1区)
- ・ 今野賢一様 (大竹1区)
- ・ 伊藤兼鉄一壽様 (十二林1区)
- ・ 伊藤藤鉄俊郎様 (赤石1区)
- ・ 阿部泉淳雄一様 (上町1区)
- ・ 吉田静一男次様 (踏切1区)
- ・ 戸部静貞男次様 (堺)
- ・ 阿部藤文政男信様 (鈴)
- ・ 齋藤木政信鶴様 (平沢)
- ・ 池田田田鶴子様 (小国)
- ・ 斎藤スミ子様 (伊勢居地)
- ・ 須藤藤秋雄様 (琴浦)
- ・ 佐藤藤篤栄様 (小国)
- ・ 斎藤藤栄栄様 (鈴)
- ・ 匿名様 (両前寺)

◎社会福祉に役立てて下さいとご寄付されました

- ・ 象潟中学校第7期生古稀祝
(代表 金子喜美治) 様 20,527円
- ・ 八幡神社御頭講中
(代表 熊谷誠助) 様 7,704円
- ・ コールひまわり (代表 渡辺チヨ) 様 6,658円
- ・ 子供神輿上小国少年会
(代表 佐藤泰良) 様 2,000円
- ・ 匿名様 150,100円
- ・ 匿名様 2,000円
- ・ 匿名様 1,600円
- ・ 匿名様 512円

◎社会福祉に役立てて下さいと物品等をご寄付されました

- ・ 佐々木実様 (中橋町)
紙オムツ多数
- ・ にかほ市老人クラブ仁賀保支部女性部
(代表 奥山ユキ) 様 雑巾多数
- ・ 菊地ツネ子様 (平沢)
雑巾多数
- ・ 匿名様
紙オムツ多数



花ことば

季節の花
花ことば

心の純潔 清純 信仰

睡蓮の花閉づ月光浄土かな

白葉女

午後から咲くので未草とも言われ、古代から太陽のシンボルとされ信仰の花ことばができたという。昔、湖の近くにワヨタ(太陽)という青年と恋人がいた。恋人の親は交際に反対し、恋人は湖に身を投じ、睡蓮になったという。睡蓮はその後、太陽が昇ると咲き、沈むと睡りようになったという。

編 細矢 鐵雄



どんな事でもお気軽にご相談ください。

- ・ 本所 秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1 ☎32-3020
- ・ 象潟支所 〃 象潟町字浜山121番地2 ☎43-2543
- ・ 金浦支所 〃 金浦字金浦321番地1 ☎38-2375
- ・ 仁賀保支所 〃 平沢字八森31番地の1 ☎32-3010

※相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

数字で見るにかほ市

(平成19年8月1日現在)

人口	29,119人
世帯数	9,455戸
65歳以上	7,917人
高齢化率	27.2%

「にかほ福祉だより」は、赤い羽根共同募金配分金や社協会費の一部を活用して発行しております